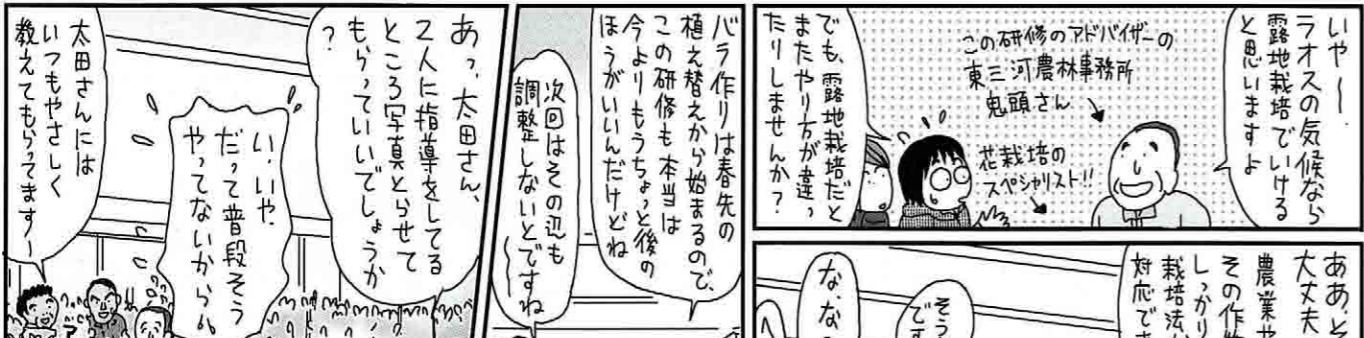


● JICA国内研修ゲンバ訪問記 VOL.30  
 ラオス サイタニー郡における畑作・園芸技術の導入の愛知編  
**OJAMA-SHIMASU** たけだみりこ



巨大な温室の中は一面のバラの株！  
 通訳なしでやってるそう。  
 自分も若い頃に外国に研修に行ったけど、そうや、言葉も技術も覚えなから、身振り手振りでなんとかなるって、日本語の勉強もしてるしね。  
 ラオスって花の栽培は盛んなんですか？  
 いえ、花を飾る習慣はあつて需要は高いんですが、現在は花を輸入してる状態です。この研修では、少しづつでも自国分を生産できるようなのが目標です。  
 ラオスでもこういう栽培法でやるんですか？  
 普通の実習は通訳なしでやってるそう。  
 自分も若い頃に外国に研修に行ったけど、そうや、言葉も技術も覚えなから、身振り手振りでなんとかなるって、日本語の勉強もしてるしね。



この研修は栽培実習が中心ですが、こつこつと流通や農協のシステムなども学んでもらおうと思ってるんです。  
 その後、会議室で行われた農協の仕組みと役割に関する講義では、各農家から集められた集荷されたトラックを協同運送するところ、糖度や形状を判定し、等級の格付けをします。  
 夏場にはこのスペースが巨大冷蔵庫になります。  
 ラオスには農協とかはまだないんですか？  
 ええ、これか、ひさか、サポーターしていることを学び、熱心にメモを取っていた研修員たちから、いろんな質問が出て、税金なんかはどうなってるんですか？  
 花と野菜の手数料が違ふのはなぜですか？  
 いやー、ラオスの気候なら露地栽培でいけると思えます。  
 この研修のアドバイザーの東三河農林事務所 鬼頭さん、花栽培のスペシャリスト！  
 じゃあ、露地栽培だとまたやりかえさないと、ダメじゃありませんか？  
 ああ、それは大丈夫ですよー、農業やるって人間ならその作物を育てる感覚を、しっかり身に付ければ、栽培法が多少違っても対応できるもんだから、ななるほど、そうなら、ごすよ、なるほど、  
 ああ、それは大丈夫ですよー、農業やるって人間ならその作物を育てる感覚を、しっかり身に付ければ、栽培法が多少違っても対応できるもんだから、ななるほど、そうなら、ごすよ、なるほど、



午後4時、取材終了。  
 2人が元気で頑張っているのが、安心しましたー。  
 試行錯誤しながらの研修ですが、少しずつ実りあるものにしていきます。  
 近い将来、ラオスにキレイなバラが咲きますように。  
**おわり**



12月×日午前10時半、三河田原駅で総合農産センターに向かう研修員たちと合流。  
 お待たせしました。今日は、おもしろいと思います！  
 田原市役所の山田さん、今日は、おもしろいと思います！  
 JICA中部の今井さん。  
 ここに来る前に堆肥作りの見学に行ってきたんですよ。  
 へー、どうでした？  
 農業は土の作り方が重要、というところがよくわかりました！  
 ラオスは土の改良しないといけない、ですねー。  
 総合農産センターでは各農家から集められた花や農産物を、品質を保持しながら素早く選別・箱詰めする設備を見学。  
 いっぱい！  
 通訳の金本さん、合センターの金本さん。  
 今日の成果はもう終わって、これからトラックに積んで全国の市場に出荷するんですよ。



逆にも、ラオスの農業についていろいろ質問されていた。  
 ラオスの農家は、どうやって市場に出荷してるんですか？  
 いろんなもの作ってるんですか？  
 この研修は今年が一年目なので、私たちが手探り状態なんです。  
 こうして午前の研修は終了。  
 幼強になりました、国に帰ったら、こういう組織作りにも取り組みたいです。  
 しゃかりやさんで、ラオスでどう生かすか考えます！  
 午後3時過ぎに、この日の実習は終了。  
 鬼頭さんを質問攻めにする2人。  
 鬼頭さん、この研修のアドバイザーの東三河農林事務所 鬼頭さん、花栽培のスペシャリスト！  
 じゃあ、露地栽培だとまたやりかえさないと、ダメじゃありませんか？  
 ああ、それは大丈夫ですよー、農業やるって人間ならその作物を育てる感覚を、しっかり身に付ければ、栽培法が多少違っても対応できるもんだから、ななるほど、そうなら、ごすよ、なるほど、